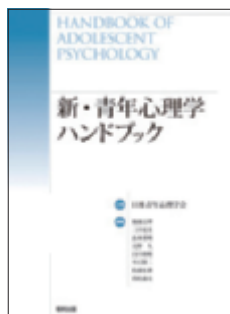


書籍紹介

脳科学研究所の研究者による著作（2014年～）



『新・青年心理学ハンドブック』

後藤宗理・二宮克美・高木秀明・大野久・白井利明・平石賢二・佐藤有耕・若松養亮（編）宇井美代子他（分担執筆）

福村出版 2014年1月刊
担当章：第30章「ジェンダーをめぐる状況」（該当ページ：385-396）
726頁 25,000円＋税



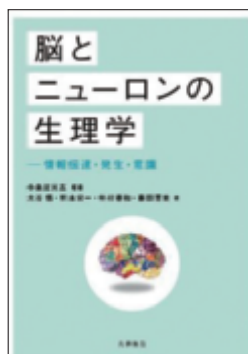
『遊びの保育発達学：遊び研究の今、そして未来に向けて』

小山高正・田中みどり・福田きよみ（編）岩田恵子他（分担執筆）
川島書店 2014年4月刊
担当章：5章「仲間遊びの展開」（該当ページ：91-110）
246頁 2,592円



『質問紙調査と心理測定尺度—計画から実施・解析まで—』

宮本聡介・宇井美代子（編）
サイエンス社 2014年7月刊
担当章：第1章「質問紙調査とは何か」（該当ページ：2-17）
336頁 2,484円



『脳とニューロンの生理学 情報伝達・発生・意識』

小島比呂志（著、編）・大谷悟・熊本栄一・仲村春和・藤田亜美
丸善出版 2014年3月刊
224頁 5,600円＋税

イベント

第2回 脳科学研究所スポーツ大会「木村杯」報告

7月6日、玉川大学脳科学研究所にて、第2回「木村杯」が開催された。今年は、フットサル大会を町田にあるフットサル場にて行った。脳情報研究科・脳科学研究科の大学院生から教授まで約35名が参加し、研究領域ごとに4チームにわかれ総当たりを行った。

全ての試合が白熱したものとなり、どのチームも試合のなかでチームワークを高め合っていた。全ての試合が終わった後にはどのチームからも試合前とは違う団結を感じることができた。前回に引き続き今回の大会も結束を高めるものとして有意義なものとなった。

脳科学研究科修士1年 仁科国之

開催日：平成26年7月6日

開催場所：フットサル町田

優勝チーム：子どもチーム（岡田・高岸研究室・岩田研究室）

